

骨髄穿刺を受けて髄膜炎と診断された患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

東近江総合医療センター総合内科では「頭痛に伴う低 Na 血症が髄膜炎の診断に寄与するかどうか」という臨床研究を行っております。この研究は、髄膜炎の診断に血清 Na 値が一助になるかどうかを調べることを主な目的としています。そのため、過去に骨髄穿刺を受けて髄膜炎と診断された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。
以下の内容を確認してください。

○この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。

研究期間

2011年4月1日 ～ 2018年9月1日

対象調査期間

倫理委員会承認日 ～ 2019年5月30日

- 今回の調査研究の対象はこれまでに骨髄穿刺を受けて髄膜炎と診断された患者さんのカルテ、採血、骨髄検査初見です。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東近江総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、東近江総合医療センターの研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

国立病院機構 東近江総合医療センター

総合内科 医師 研究代表者：田丸大

TEL : 0748-22-3030 (代)

FAX : 0748-23-3383 (代)